

vol. 05

撮り直しのきかない
思い出の写真を
鮮やかに甦らせよう

Adobe Photoshop Elements



写真アレンジ



Win



Mac



Bamboo
Fun



Intuos4
SE

難易度 ★☆☆

幼少の頃に撮った紙焼き写真は、時代とともに色褪せてしまうもの…。でもペンタブレットとPhotoshop Elementsを使えば、傷や汚れで痛んでしまった昔の写真も、まるで撮り直したかのように修復できます。思い出の写真を色鮮やかに甦らせてみましょう。

※ ここではPhotoshop Elements9を使用しています。お使いのPhotoshop Elementsのバージョンによっては、一部操作が異なる場合があります。

BEFORE



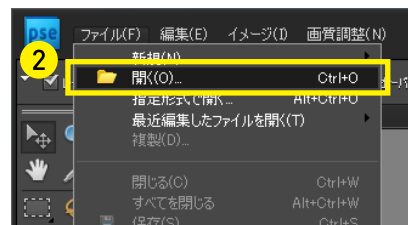
AFTER



STEP
01

スキャンした写真データを読み込む

まず、修復したい紙焼きの写真をあらかじめスキャンして準備しておきましょう。次にそのデータをPhotoshop Elementsに読み込みます。Photoshop Elementsを「編集」モード①で起動し、「ファイル」→「開く」②をクリックします。修復したい写真③を選択し、「開く」④をクリックすれば、画像が読み込まれます。



STEP 02

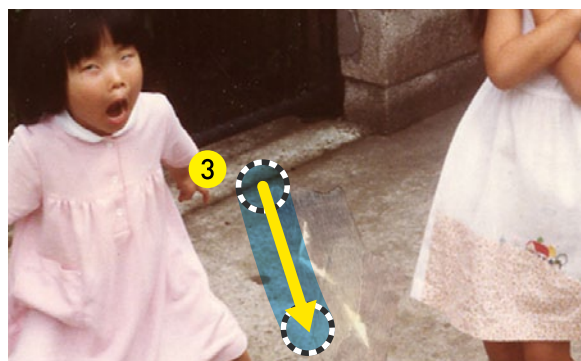
痛んだ部分を修復する

読み込んだ画像は、破れた箇所にテープが貼られています。まず、この部分を修復してみましょう。ツールボックスの「スポット修復ブラシツール」①をクリックし、ツールバーでブラシのサイズ②を設定します。ここでは、「50px」くらいにします。

ブラシが設定できたらテープが貼られた部分をなぞっていきます③。タブレットからペンを離すと、その部分が近くの背景で塗りつぶされて、テープと傷が消えてなくなります。一度に広い範囲をなぞると、人物の画像までひろってしまうので、上から下へ三度くらいに分けてなぞってみるのがコツです。筆圧を上手く使うときれいに仕上げられます。うまく消えない場合は、ブラシのサイズやなぞる方向を変えてみましょう。

② サイズ: 50 px 種類: 近似色に合わせる テクスチャを作成 コンテンツに応じる

①



STEP 03

明るさや色味を調整する

痛んだ部分が修復できたら、色褪せた写真を鮮やかに甦らせましょう。Photoshop Elementsでは様々な画像補正ツールを備えていますが、今回はごく簡単な方法でやってみます。画面右のパネルエリアで、「編集」から「クイック」①を選びます。すると明るさやコントラスト、カラーなどが補正できるパネル類②が表示されます。それぞれの補正パネルの「自動」ボタンをクリックした後、スライダで微調整をしていきましょう。

① クイック



STEP
04

写真の汚れを目立たなくする

画像を明るく補正すると、見えなかった細かい汚れが目立ってきます。パネルエリアの編集モードを「標準」①に戻し、ツールボックスから「ぼかしツール」②をクリックします。ブラシのサイズを大きめ（ここでは80～90px）に設定し、汚れが目立つ部分をブラシ③でサッと軽くなぞると目立たなくなります。あまりなぞり過ぎると画像がぼけてしまうのでご注意ください。これで完成です。

「ファイル」メニューから「名前をつけて保存」をクリックし、JPEGなどで保存しておきましょう。

